

工事の状況について

思川開発事業で工事を行っていた仮排水路トンネル、放流管敷設トンネル及び付替県道4号トンネルが平成23年3月に完成しました。

仮排水路トンネルは、全長807m。南摩ダム本体工事に先立ち、南摩川の流れを切替えるためのものです。

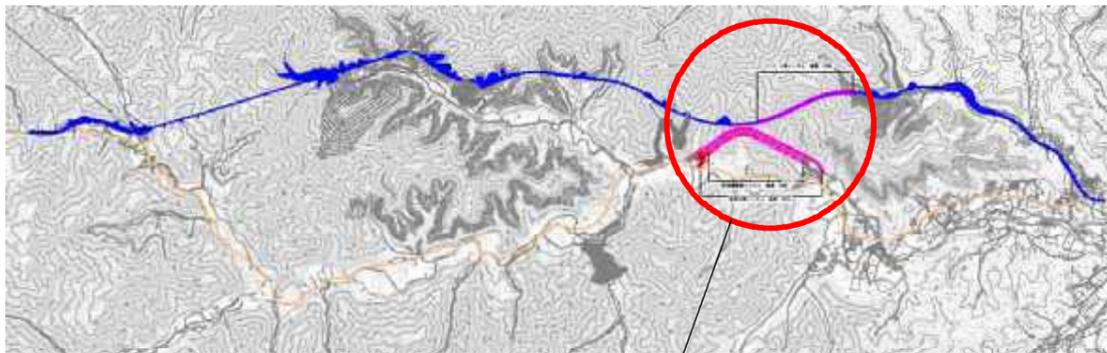
放流管敷設トンネルは、全長606m。ダム本体工事の施工中は県道の迂回路として利用し、ダム完成後は、ダムに貯めた水を下流の利水補給するための放流管を敷設するものです。

両トンネルは、平成21年3月から工事を始め約2年をかけて完成しました。

4号トンネルは、全長576m。南摩ダムによる貯水のために水没する県道上久我郡賀栃木線の付替県道の一部で、平成23年4月から工事を始め、やはり約2年をかけて完成しました。これにより、付替県道については、平成23年3月末で全長約6.4kmのうち34%が完成しました。

3本のトンネルが完成しましたが、工事中の騒音・振動・濁水等に対する環境保全対策等を行うとともに、地元の皆様のご理解とご協力をいただきながら工事を進めさせていただきました。

引き続き、付替県道1号トンネル工事等の施工を実施してまいります。特に公道を通行する際のマナーについては、機構職員、請負者は基より全工事関係者に周知し、指導を行っていきたくと考えておりますので今後ともご理解とご協力をお願いします。



小倉川漁業協同組合及び黒川漁協協同組合の釣り情報について

思川開発事業に係る、小倉川漁業協同組合（鹿沼市及び西方町にまたがる思川、大芦川、南摩川及び粟野川等が漁場です）と黒川漁業協同組合（鹿沼市、日光市及び壬生町にまたがる黒川及び行川等が漁場です）の二つの漁業協同組合の今年度の釣り情報についてお知らせいたします。

両漁業協同組合ともすでにヤマメやイワナなどの渓流魚については解禁されており、現在、6月の解禁に向け、アユの放流を行っています。

小倉川漁業協同組合では、管内で約30万尾のアユを放流する計画で、解禁は6月12日（日）です。昨年度末に大光寺堰（美田東部頭首工）の魚道改築が完了し、4月21日から通水を開始することから、今年度は、清流大芦川や思川でアユの天然遡上が期待されています。

一方、黒川漁業協同組合では、管内で約20万尾を放流する計画で、解禁は6月19日（日）です。黒川は、市街地（平成橋下流の鹿沼市）でも尺アユが釣れる全国でも珍しい希な河川です。

なお、思川開発建設所では、貯水池予定箇所において、木の伐採のための進入路等により山肌が削られている箇所に植生マットを設置したり、工事箇所に沈砂池を設置するなどして、南摩川や思川などへの土砂流出による濁水の発生を軽減する取り組みを行っています。

栃木県といえば那珂川や鬼怒川のアユが有名ですが、両漁業協同組合管内の河川も清流で育つ香り豊かなアユ（まさしく香魚）を求めて県内外から多くの太公望が訪れます。皆様も釣りを楽しんでみてはいかがでしょうか。



H22.6 本城橋付近



H22.6 府中橋付近

環境保全に対する取り組みについて

思川開発事業では、事業により改変を受けた動植物の生息・生育環境復元のため、所久保地区に環境保全地を整備する予定です。目的・目標は以下のとおりです。

目的：湿地環境の創出・・・「多様な動植物の生息・生育環境を創出すること」

目標：現状の動植物の生息・生育環境を保全するという事ではなく、現状と比較して「多様な動植物が生息・生育できる」ように環境を整備する。

詳細は、改めて掲載する予定です。